



XGPS150

OWNER'S MANUAL

Universal GPS Receiver

Japanese

 **Bluetooth[®]**

Made for



iPod



iPhone



iPad

Dual[®]

取り扱いのご注意

- ・本体及び付属品に欠品がないかご確認ください。
- ・製品の保証内容をご確認いただき、重要な書類は必ず保管してください。
- ・炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
- ・分解、改造をしないでください。

内容物の確認

- ・XGPS150本体
- ・滑り止めパッド
- ・シガーライター電源アダプタ
- ・USB充電ケーブル
- ・アームバンド+延長バンド
- ・XGPS150 OWNER'S MANUAL(日本語版)

その他の情報の入手方法

以下のWEBサイトで製品情報、NEWS、FAQなどXGPS150に関する情報を提供しております。

株式会社ワックドットコム

Catalyst事業部ホームページ

<http://catalyst.wac-jp.com/>

ホームページのレイアウトは予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

index

取り扱いのご注意 内容物の確認 -----	02
index -----	03
はじめに -----	04
各部の名称とはたらき -----	05
セットアップ -----	08
機器とのペアリング	
iPod touch, iPad または iPhone とのペアリング -----	09
Android端末とのペアリング -----	10
XGPS150と「Bluetooth GPS」の使い方 -----	11
Blackberryとのペアリング -----	12
XGPS150の活用 -----	13
XGPS150を快適にご使用いただくために -----	14
XGPS150の仕様 -----	15
Compliance -----	16
保証 -----	17
無償修理規定 -----	18
MEMO -----	19

日本語版取扱説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万が一誤りや記入漏れなどにお気づきの点がございましたら、XGPS150サポートまでご連絡ください。

はじめに

Dual社製XGPS150 (Universal Bluetooth® GPS Receiver)を
ご購入頂きありがとうございます。

XGPS150は人工衛星からの電波を利用した位置測定システム
GPS (Global Positioning System) レシーバーです。
衛星からの電波を受信し、現在位置が手軽かつ的確に把握でき、
Bluetooth機能のSerial Port Profile (以下SPP)に対応している機器
に、位置情報を送信することができるので、登山やキャンプなどに
持ち歩く楽しみのほか、ナビアプリケーションと連携することで、活
用の場が広がります。

対応機種:

- iPhone® (第2世代～第4世代)
- iPod touch® (第2世代～第4世代)
- iPad®, iPad 2®

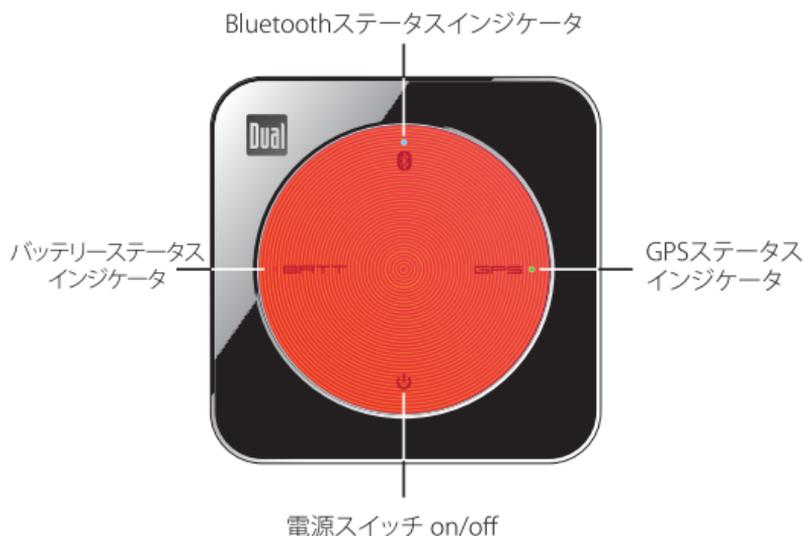
Bluetooth対応している Android、Windows、Blackberry等、スマ
ートフォンやタブレット端末、WindowsやOS Xで動作しているノー
トパソコンにも対応しております。

注: Bluetoothに対応していても、SPPには対応していない可能性
がございますので、必ずSPPに対応しているかご確認の上ご使用
ください。なお、SPPへの対応につきましては、Bluetooth製品の各
メーカーサポートにお問い合わせください。

Android端末の場合、XGPS150を使用するためのアプリケーション
が必要になる可能性がございます。

詳しくは「機器とのペアリング (10ページ)」をご確認ください。

各部の名称とはたらき

**電源スイッチ**

電源マークを長押しする事で、オン/オフができます。

※電源スイッチは、カチッと押した感覚があるまで押しこんでください。

バッテリーステータスインジケータ

バッテリーの状態により点滅または点灯します。

赤点滅:残量わずか 赤点灯:充電中 緑点灯:充電完了
なお、XGPS150が正常に動作している間は点灯しません。

※詳しくは「XGPS150の充電(13ページ)」をご確認ください。

Bluetoothステータスインジケータ

Bluetoothの状態により(接続機器のサーチ中や、ペアリング中)点滅または点灯します。

ゆっくり点滅:他のBluetooth機器と接続可能です。(1秒あたり1回程度)

速く点滅:Bluetooth機器とペアリング中です。(1秒あたり5回程度)

点灯:機器と正常に接続している状態では点灯します。

※「ペアリング」とは、Bluetooth機器をお互いに登録し、登録された機器との接続を許可する過程のことです。



XGPS150

各部の名称とはたらき(つづき)

GPSステータスインジケータ

GPS信号の状態により点滅または点灯します。

点滅: 衛星信号の検索中です。

点灯: GPS情報が正常に取得されています。

ご注意: iPad, iPod touch または iPhone の場合は、アプリケーションがGPS情報(位置情報)を要求するまで、GPSステータスインジケータは点灯しません。GPSステータスインジケータの点滅または点灯を確認するには、iOS機器の基本アプリ「マップ」等の位置情報を要求するアプリケーションを起動してください。

USBポート

付属のUSBケーブルを接続して充電します。

モードスイッチ

モードの切り替えを行います。なお、XGPS150と接続する機器により、モードを切り替える必要があります。

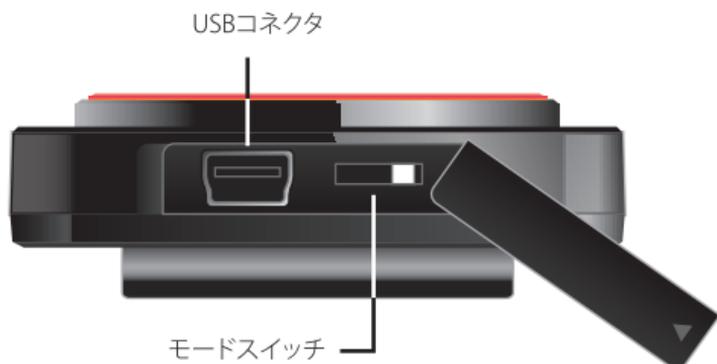
左側: Android端末、Blackberry、ノートパソコンやタブレット等

右側: iPod touch、iPad、iPhone 等のiOS端末

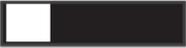
※詳しくは(8ページ)モードスイッチの設定をご確認ください。

各部の名称とはたらき(つづき)

XGPS150 側面図



モードスイッチ 一覧表

モードスイッチの位置	機 器 / 端 末
左  USBコネクタ側	・Android、Windows、Blackberry ・ノートパソコンやタブレット等
右  端子カバー押さえ側	・iPod touch、iPad、iPhone 等の iOS端末



XGPS150

セットアップ

XGPS150は箱を開けてから使用開始まで、とても簡単な作業で使用できます。お持ちのiPadやiPod、スマートフォン、タブレットまたはノートパソコンと1度だけペアリングを行えば、以後XGPS150の電源を入れるだけで使用可能となります。

セットアップの方法

- 使用する機器に合わせて、XGPS150のモードスイッチを設定します。
- XGPS150を使用する機器とペアリング (Bluetooth接続) します。

モードスイッチの設定

細い棒状のもので、モードスイッチをご使用の機器に合わせて設定します。

- Android、WindowsやBlackberryのスマートフォン、ノートパソコンやタブレット(iOS端末以外)と使用する場合は、モードスイッチをUSBコネクタ側の左に設定します。
- iPhone、iPod touch、またはiPad等のiOS端末と使用する場合はモードスイッチを端子カバー押さえ側の右に設定します。

機器とのペアリング

ペアリングとは、Bluetooth機器を最初に使用する際に、接続相手
を特定するために行う、2台のBluetoothデバイスの接続設定のこ
とです。1度ペアリングを行えば、電源を入れ直しても最後にペアリ
ングした機器に接続され、使えるようになります。なお、XGPS150
を別の機器と接続するには再度ペアリングを行う必要があります。

ご注意: ペアリング中にお持ちの機器が接続のために暗証番号を必要とする
場合「0000」か「1234」を入力してください。

iPod touch、iPadまたはiPhoneとのペアリング

(ご注意:以下の説明は、iOS 4.1での使用をもとに書かれておりますので、iOSのバージョンに
より内容が異なる場合があります)

1. XGPS150のモードスイッチをペアリングする機器に合わせてセットします。

※詳しくは「セットアップ(8ページ)」をご確認ください。

**2. XGPS150を起動して、青色のBluetoothステータスランプがゆっくりと点滅
し始めることを確認します。(1秒あたり約1回)**

3. iPod touch、iPadまたはiPhone側でBluetoothを「有効」に設定します。

設定 > 一般 > Bluetooth

※Bluetoothが「有効」になるとiPod touch、iPad または iPhone側は自動的にXGPS150を探
し始めます。

**4. しばらくすると、iPod touch、iPad または iPhone側のリストに[XGPS150-
xxxxxx]の項目が表示されます。(ご注意: 下6桁は機器によって異なります)**

※機器によってはリストに[XGPS150-xxxxxx]と表示される前に「Misc」と表示されることが
ありますが問題ありません。

**5. 表示された[XGPS150-xxxxxx]を選択します。「接続されていません」という
表示が消えて回転するカーソルに変わります。**

**6. しばらくすると、リストにある[XGPS150-xxxxxx]の文字が青色に変わり「接
続されました」という文字が表示されます。なお、XGPS150側ではBluetoothス
テータスインジケータの青色ランプが数秒のあいだ点滅した後、点灯状態に
なります。**

ペアリングが正常に終了し接続されている状態であれば、XGPS150の
Bluetoothステータスインジケータの青色ランプが点灯状態になります。



XGPS150

Android端末とのペアリング

(ご注意:以下の説明は、AndroidOS2.2の端末での使用をもとに書かれていますのでAndroidOSのバージョンにより内容が異なる場合があります)

1. XGPS150のモードスイッチをペアリングする機器に合わせてセットします。

※詳しくは「セットアップ(8ページ)」をご確認ください。

2. XGPS150を起動して、青色のBluetoothステータスランプがゆっくりと点滅し始めることを確認します。(1秒あたり約1回)

3. Android端末で以下の設定を行います。

- ・疑似ロケーション許可のオプション設定を「有効」にします。

設定 > アプリケーション > 開発

- ・Bluetoothを「有効」にします。

設定 > 無線とネットワーク

- ・デバイス検索を選択します。

設定 > アプリケーション > Bluetooth設定

※疑似ロケーション許可のオプションを「有効」にするとAndroidはXGPS150等の外部機器からのGPS情報を使用することができるようになります。

※Bluetoothが「有効」になりデバイス検索を選択するとAndroid端末は自動的にXGPS150を探し始めます。

4. しばらくすると、Android端末のリストに[XGPS150- xxxxxx]の項目が表示されます。(ご注意:下6桁は機器によって異なります)また、この時点でリストには「ペアリング済み」または「この端末とペアリング」と表示されます。なお、XGPS150のBluetoothステータスインジケータは青色でゆっくり点滅します。

※「この端末とペアリング」と表示された場合、「この端末とペアリング」を選択すると「ペアリング中…」の表示になり、ペアリングが終わると「ペアリング済み」と表示されます。

Android端末によっては、外部GPS機器を使用するためのアプリケーションをインストールする必要があります。外部GPS機器を使用するためのアプリケーションはバックグラウンドで動作して、Android端末とXGPS150が通信できるよう中継をしてくれます。

いくつかのアプリケーションが利用可能ですが、Androidマーケットにある無料アプリケーション「Bluetooth GPS」をお勧めいたします。

XGPS150と「Bluetooth GPS」の使い方

(ご注意:以下の説明は「Bluetooth GPS」のVer.0.6.4での使用をもとに書かれておりますのでバージョンにより内容が異なる場合があります)

※Bluetooth GPS:外部GPS機器を使用するためのアプリケーション

1. Android端末とのペアリング手順を完了している事を確認します。

※詳しくはAndroid端末とのペアリング(10ページ)をご確認ください。

2. Androidマーケットから「Bluetooth GPS」をダウンロードしてインストールを行います。

3.「Bluetooth GPS」を起動して [Main] タブのプルダウンメニューにあります [XGPS150-xxxxxx] を選択します。

4. [Enable Mock GPS Provider] をチェックして [Connect] ボタンを選択することで操作は完了です。

Android機器とXGPS150が接続されるとBluetoothステータスインジケータが青く点灯します。またGPS情報を必要とするアプリケーションを起動すると、XGPS150から位置情報の送信が開始されます。



XGPS150

Blackberryとのペアリング

(ご注意:以下の説明は、Blackberry Storm 9550 での使用をもとに書かれていますので、端末により内容が異なる場合があります)

1. XGPS150のモードスイッチをペアリングする機器に合わせてセットします。

※詳しくは「セットアップ(8ページ)」をご確認ください。

2. XGPS150を起動して、青色のBluetoothステータスランプがゆっくりと点滅し始めることを確認します。(1秒あたり約1回)

3. Blackberryで以下の設定を行います。

- ・ Bluetoothを「有効」にします。

Manage Connections

- ・ デバイス検索を選択します。

Options > Bluetooth > Add Device

※Bluetoothが「有効」になりデバイス検索を選択するとAndroid端末は自動的にXGPS150を探し始めます。

4. しばらくすると、Blackberryのリストに[XGPS150-xxxxxx]の項目が表示されます。(ご注意: 下6桁は機器によって異なります)

5. Blackberryのメインメニューより [GPS] を選択します。

Options > Advanced Options > GPS

端末のGPS Data Source リストより [XGPS150-xxxxxx] を選択します。また同じメニューでGPS Services の設定が [Location On] となっており、Location Data が [Enabled] である事を確認します。

ペアリングする機器についての使用方法やご不明点に関しましては各機器の販売元もしくはメーカーサポートにお問い合わせください。

XGPS150の活用

車での使用

付属の滑り止めパッドを使用する事で、車で快適にご利用できます。なお、確実に滑り止めパッドに装着するためには、パッドのどっぴり上部のかえし部分にしっかりと本体が収まっている事をご確認ください。

アウトドアでの使用

付属のアームバンドを使用する事で、ジョギングやサイクリング、登山等のアウトドア環境で快適に利用できます。さらに延長バンドを使用する事で、いろいろなものに固定する事ができます。

XGPS150の充電

車での使用

XGPS150 は機器の側面にあるUSBコネクタを使って充電します。
※付属のUSB充電ケーブルで充電してください。

車で充電するには、付属の12Vシガーソケット電源アダプタを使用します。

なお、XGPS150を完全に充電するには、3時間程度かかります。

XGPS150を快適にご使用いただくために

初回時のご注意

初回時は必ずフル充電(3時間程度)の後、位置情報の確認を行ってください。充電時間が短く十分に充電されていないとGPS信号の取得が不安定になる可能性がございます。

GPS取得時のご注意

遮蔽物のない所で、移動せずにGPSの取得を行ってください。
なお、GPS衛星は地球の周りを移動しているため、同じ地点でも時刻によってGPS情報が取得できない場合がございます。

使用中のご注意

XGPS150とBluetooth接続する機器との距離が広がることで、バッテリーの消費は増加します。それによりBluetoothの接続が切れ、再接続を繰り返す場合は、バッテリー残量が減少しているため、XGPS150を再充電してください。

XGPS150の仕様

寸法 (W x H x D mm)

- XGPS150 : 55.0 x 55.0 x 18.5
- 滑り止めパッド : 94.0 x 144.0 x 22.0

XGPS150 電圧

- 入力電圧 : 5 VDC

シガーライター電源アダプタ電圧

- 入力電圧 : 12-24 VDC
- 出力 : 5 VDC

GPS

- 65チャンネル SkyTraq エンジン
- コールドスタート : 標準29秒内 (視野良好)
- ウォームスタート : 標準25秒内 (視野良好)

Bluetooth

- CSR エンジン
- バージョン : 2.1+EDR
- 範囲 : ~10m (視野良好)

内部バッテリー

- 容量 : 680 mAh
- 動作時間 : ~8.5 時間
- 充電時間 : ~3 時間

環境要件

- 動作温度 : -10°C ~ 60°C
- 筐体温度 : -20°C ~ 80°C
- 相対湿度 : 5% ~ 95% 結露しない事

Compliance

ICC Compliance

このクラス[B]のデジタル機器はカナダのICES - 003に準拠しています。

FCC Compliance

遮蔽物のない所で、移動せずにGPSの取得を行ってください。本装置は、連邦通信委員会規則第15部に準拠しています。内容には次の2つの条件が含まれます。

- (1) この装置により、有害な干渉が発生することはない。
- (2) 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、どんな干渉の受信にも同意する必要がある。

警告: 本機器への明示的に認められていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザの権利が失われる可能性があります。

注: 本装置は、連邦通信委員会規則第15部の規定によるクラスBのデジタル装置に関する規制への準拠が検査により確認されています。これらの規制は居住地域に取り付けた場合に有害な干渉から正しく保護することを目的としています。本製品は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射しますので、指示にしたがって取付けて使用しない場合、無線通信に有害な干渉をする恐れがあります。しかし、特別な取り付けをした場合でも干渉が発生しない保証はできません。本装置が、ラジオやテレビの受信に有害に干渉する場合、装置の電源を一度切り、再度電源を入れ、原因を確かめた上で、次の1つまたは複数の対策を講じることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変える。
- 装置と受信機の位置を離す。
- 受信機が接続されている回路とは違う回路の出力側に装置を接続する。
- 販売、またはラジオおよびTVに詳しい技術者に相談して下さい。

XGPS150



保証

商品名：Universal Bluetooth GPS Receiver
保証機器名：XGPS150本体（付属品は保証の対象外）
保証期間：お買い上げ日より1年
お買い上げ日※¹： 20 年 月 日
お名前： 様
ご住所：〒
電話番号：
販売店印※²：

※1本保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本書によって保証書を発行している者（保証責任者）及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてなどご不明点は、販売店または輸入販売元にお問い合わせください。

※2印欄に記入のない場合、販売店名と購入日を証明できる販売店から発行されたレシートや領収書等必ずお持ちください。

（注）輸入販売の関係で交換に時間がかかる場合がございますので、ご了承ください。また、お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

製造元 Dual Electronics Corp.

輸入販売元 株式会社ワックドットコム

東京都千代田区一番町15-8 壹番館4F

カスタマーサポート

ホームページ：<http://catalyst.wac-jp.com/xgps150/>

メール：support_xgps150@wac-jp.com

サポートダイヤル：03-6380-8156



XGPS150

無償修理規定

1.本書にお買い上げ年月日、販売店名が記載されているかどうかお確かめください。記載のない場合(※)及びお客様情報の記入がない場合、内容が書き換えられた場合は、有償修理となります。

※記載のない場合は、販売店名と購入日を証明できる販売店から発行されたレシートや領収書等が必要となります。

2.保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。ただし、診断により代替品と交換させていただく場合がございます。

3.保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)

- ①取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
- ②不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
- ③使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
- ④地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
- ⑤本書の提示がない場合。

4.機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。

5.本書記載の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。

6.本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。

7.出張による修理対応はお受けできません。

8.XGPS150本体以外の付属品(消耗品)は保証の対象外となります。

9.本書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

10.本書は再発行しませんので、大切に保管してください。

XGPS150



MEMO



製造元

Dual Electronics Corp.

www.dualav.com

©2011 Dual Electronics Corp. All rights reserved.

輸入販売元

株式会社 ワックドットコム

www.wac-jp.com

©2011 WAC.com All rights reserved.

Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and or other countries. iPod, iPad and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the US and other countries. "Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. The Bluetooth® word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Namsung is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.